

## 第2回久慈地区新設高等学校統合検討会議 議事録

期日 令和5年8月28日(月)

時間 午後3時00分～午後5時00分

会場 岩手県立久慈東高等学校 視聴覚室

### 1 開会(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉)

### 2 久慈地区新設高等学校統合検討会議座長挨拶(佐々木座長)

- ・ 本日は、お忙しいところ、御出席いただき感謝申し上げます。
- ・ 本日の第2回検討会議では、校名案、校訓、学校教育目標、各学科の教育内容、校章、校歌、制服等といった学校の主要な部分について協議いただくこととしていることから、構成員の皆様から多くの御意見等を伺いたいと考えている。
- ・ 久慈地区新設高等学校が、久慈地域における地域社会・地域産業を担う人材を育成する学校となるとともに、生徒一人一人の学びの充実を図る学校となるよう、忌憚のない御意見を願いたい。

### 3 報告(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉)

#### (1) 久慈地区新設高等学校校名案公募について

6月8日から7月5日の期間、公募を行った。周知については、両校のホームページ掲載、県ホームページ掲載、生徒・保護者へのお知らせ、各市町村教育委員会及び中学校へのお知らせとした。受付方法は応募フォーム、郵便、FAX、電子メールとした。応募総数は122点となった。

#### (2) 統合課題検討チーム会議及び教育内容検討チーム会議について

7月27日(木)、久慈東高校で開催した。教育内容検討チーム会議では、学びの在り方①、教育内容の検討①、統合課題検討チームにおいては、校名候補案選定、学校教育目標及びスクール・ポリシーの方向性①、校訓、校章、校歌、制服の決め方について検討した。

### 4 協議(議長 佐々木座長)

#### (1) 協議事項1 校名案について

- ・ (佐々木座長) はじめに、県教育委員会事務局から、校名案決定の進め方について説明していただく。
- ・ (学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男) 校名案を協議いただくにあたり、統合検討会議において校名を検討いただく趣旨について、説明させていただく。校名は、最終的には設置者である県教育委員会の責任において決定するものである。ただ、その選定には、両校の関係者の意見・意向を踏まえることが必要と考えているため、これまでの統合においても、統合検討会議の場で検討いただいた校名案の候補をもとに決定させていただいている。なお、県教育委員会において、校名案を協議する際には、両校関係者の御意見や御意向を十分に伝えるため、校名案に込められた意味や選定した理由についても報告させていただきたいと考えているので、委員の皆様から積極的な御意見、御発言をいただき

たい。

また、候補の数に制限や決まりはないが、先例となる福岡工業高校と一戸高校の場合や、盛岡南高校と不来方高校の場合では、4つの案に絞り報告いただいている。その他の過去の例では、3つ程度の絞り込みが多い。県教育委員会で選定する際の参考とするため、可能な限り順位付けをしてもらいたい。

終わりに、本日の会議において、校名案候補が決定した後のスケジュールについてお知らせする。新たな校名は、県議会における条例改正をもって正式決定となるものだが、仮に今日、校名案候補が決まった場合については、次回の会議の開催までに、県教育委員会において校名案を一つに決定する協議を行い、次回12月の会議の場で報告・公表する予定である。

- ・（佐々木座長）ただいまの説明について、質問、意見等はあるか。
- ・（水野副座長）第1回の検討会議で決まったことに関連するが、独立校舎型の統合であることから、現在の久慈東高校、久慈工業高校それぞれに校舎を置くこととなる。校名案の検討に関連して、久慈工業高校としてお願いしたいことがある。独立校舎型になるので、校舎名については、地域の学びを推進するということから「野田校舎」、工業学科の名称については、工業科の学びを明確にするために「工業科」という案でお願いしたい。これは、第3回の協議事項となるものだが、校名案に関係するものとして、このような意見があるということを考えて協議をお願いしたい。
- ・（佐々木座長）校舎名についての発言について意見等はあるか。
- ・（菊地構成員）「野田校舎」にしてほしいとの話があったが、村としても、これまでの工業高校の特色などが野田村の校舎で今後も残されていくのであれば、これまでどおり学校を応援していきたいと思っているので、ぜひ、「野田校舎」でお願いしたい。
- ・（佐々木座長）今回は校名案について協議し、校舎名については次回の議題となっているが、校舎名について、このような意見があることを受けながら、本日の校名案の協議を進めていただきたい。それでは、事務局からの提案をお願いしたい。
- ・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）はじめに、新設校のイメージについて、別冊資料1ページを基に改めて説明。校名案6つ（順不同）について、資料3ページのとおり提案。別冊資料2ページから8ページのとおり補足説明。
- ・（佐々木座長）事務局から6つの提案がなされた経過も含めて説明があった。

冒頭に高校改革課長から説明があったように、提案の6案から、4案程度に絞って県教育委員会に推薦するという事務局からの提案である。本日、ここで4案に絞り込む協議をすることでよろしいか。

- ・（後構成員）御苦労されながら6案を選定されたと思うが、この中に無いものを候補として協議することは可能か。それとも、提示されているこの6案の中から絞るという協議になるのか。

〈回答〉（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）主だったものから、統合課題検討チームで6案を提案したものであるが、もし、構成員の中で更にふさわしいものがあるということであれば、新しいものを入れても構わない。

- ・（佐々木座長）回答のとおり、併せるなどは自由にしてよいということなので、皆さんの協議で、この場で整うようなかたちであれば問題はない。

それでは、絞り込みの協議に移る。6案について意見を伺う。

- ・（小野寺構成員）選定の考え方の中に、久慈地区のイメージと、「久慈」や「工科総合」という文字を取り入れるとあるので、限られたものの中では、「北三陸」や「久慈工科総合」などに絞られていくと考えられるが如何か。

〈回答〉（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）統合課題検討チームで選定した6案のうち「久慈」、「工科総合」という文字が付いていない案に、頭に「久慈」をつけるか、後ろに「工科総合」をつけるかについても検討した。漢字の文字数が長いことや画数が多いなどの意見があり、付けない案を提案したが、「久慈」や「工科総合」を付けることは構わない。この会議で協議してほしい。

- ・（小野寺構成員）校名については、同窓生や在校生など関わりのある方々の思いが入る大事なものと捉えている。アンケートの中に同窓生等の意見は入っているのか。

〈回答〉（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）校名案の公募は個人応募であるため、アンケート調査結果の中に、同窓会等としての意見は入っていないと捉えている。

- ・（佐々木座長）選定の考え方に、「久慈」「工科総合」の文字を取り入れる、と記載になっているが、候補を絞り込んでいく上で必ず入るというものではない。組み合わせも含めて協議していただきたい。
- ・（小野寺構成員）あまり難しい校名でなくて良いのではないか。「久慈工科総合」がわかりやすいのではないか。
- ・（澤口構成員）「工科総合」だと、略称が「久慈工」となり、今と変わらなくなるのではないか。
- ・（菊地構成員）「久慈農林」「久慈商業」「久慈水産」が統合して「久慈東」になった経緯と、「久慈東」と「久慈工業」が統合することなので、これまでの経緯を踏まえると、「久慈」の文字は残した方が良いのではないか。そうすると「久慈工科総合」となる。
- ・（後構成員）学校名として、どこにある学校なのかわかりやすい方が良い。これまでの統合の経緯と、久慈地区の産業人材を育成する学校、明るいイメージの校名ということ踏まえ、また、行政でもこの地域を「久慈広域」という言葉で表現しているため、「久慈」という名称はあった方が良いのではないか。「久慈工科総合」も良いが、「北耀」も良いと思う。私自身は、北のイメージと琥珀、マリンローズのイメージで「久慈北耀」も良いのではないかと思っている。
- ・（久保構成員）子どもたちが飛躍する、という意味の「翔北」に久慈をつけた「久慈翔北」か「久慈工科総合」が良いのではないか。
- ・（佐々木座長）「久慈」と付けた方が良いという意見があるが、「久慈」の文字を付ける方向でよろしいか。
- ・（三上構成員）在校生、卒業生の目線で、この学校で学んだという誇りが持てる校名が良い。「久慈」を付けることも賛成である。子ども目線で考えると、「工科総合」よりは、「久慈翔北」「久慈北耀」が良いと考える。
- ・（佐々木座長）6案の中から「久慈」と付けた、「久慈北耀」「久慈翔北」「久慈魁星」と「久慈工科総合」の4つの案が良いのではないかという意見が出ているが如何か。
- ・（蒲野構成員）久慈が頭についたものに賛成である。「久慈工科総合」は、長いため子どもたちが校名を書くときに苦勞する。久慈の後に「北耀」「翔北」「魁星」をつけたもの

が良いのではないか。

- ・（佐々木座長）確認であるが、県教育委員会に推薦した案は、どれも校名（案）候補となることを御理解いただきたい。
- ・（山王構成員）地元の高校ではないが、この間、甲子園で活躍した仙台育英高校について、当初は育英高校だったところ、「仙台」をつけたことで生徒がたくさん集まったという話を聞いたことがある。「久慈」は付けた方が良く考える。
- ・（小橋構成員）「久慈」を付けた方が良く。地域にある学校なので、「久慈」が付いていると、県内外でも、どこにある高校なのかがわかる。独立校舎制をとるとということと、これから入学する中学生の目線に立つと、何を学ぶかが分かった方が良くと思われるので、「久慈工科総合」が妥当ではないか。
- ・（佐々木座長）今のところ「北三陸」の名称が候補案として出てきていない。「北三陸」も地域名ではあるが、より「久慈」の方が明確であるように思われる。「北三陸」と「北三陸工科総合」は候補から外しても良いか。
- ・（後構成員）それでよいと思う。「北三陸」という言葉については、道の駅の名称選定のときに「いわて北三陸」ということで使われている。商業的な、観光的な方面で使われている。「あまちゃん」効果もあると思われる。それと教育に関することは少し別でよいと思うので、「北三陸」ではなく「久慈」の地名をつけた方がよい。
- ・（佐々木座長）それでは、まとめると、「北耀」「翔北」「魁星」に久慈をつけた、「久慈北耀」「久慈翔北」「久慈魁星」と、「久慈工科総合」の4つを県教育委員会に推薦することによろしいか。
- ・（各構成員から了承の声）
- ・（佐々木座長）それでは、「久慈北耀」「久慈翔北」「久慈魁星」「久慈工科総合」の4つを県教育委員会に推薦することとする。県教育委員会に報告するにあたり、参考資料とするため、できる限り協議で順位を付けたい。
- ・（後構成員）この場で協議して決めるのが難しいので、今の4案の中から、それぞれがよいと思われる順位を無記名で投票することとしてはどうか。その結果をもとに、協議すれば良いのではないか。
- ・（佐々木座長）協議が難しいということなので、投票にて順位付けを行うことによろしいか。
- ・（各構成員から了承の声）
- ・（佐々木座長）このような場合を想定して、事務局が投票の方法について準備していると聞いている。事務局には、投票について提案していただきたい。
- ・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）投票について、投票要綱を配付し、読み上げて説明。投票による得票順位は、構成員の総意による推薦順位とは異なることから、校名案を県教育委員会に報告する際には、校名案に推薦順位を付さないこと、及び、参考として投票結果を添えることを説明。
- ・（佐々木座長）ただ今説明があった投票要綱のとおり進めてよろしいか。
- ・（各構成員から了承の声）

各構成員に投票用紙を配付。構成員が記入。事務局が投票用紙を回収し、集計。県教委高校改革課長が集計に立会人として参加。

- ・（佐々木座長）集計結果について報告する。1位 久慈工科総合（35点）、2位 久慈翔北（33点）、3位 久慈北耀（32点）、4位 久慈魁星（8点）です。それでは、4つの案を県教育委員会に推薦し、投票結果は参考資料として県教育委員会に報告する。

また、資料で示した、応募者から寄せられた理由に基づいて作成した理由と、本会議において構成員から挙げられた理由を、座長と事務局が整理した上で、県教育委員会に報告してよろしいか。

- ・（各構成員から了承の声）

（2）協議事項2 校訓の決め方について

- ・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）資料5ページを読み上げて提案。参考資料として、別冊資料9ページを紹介。
- ・提案のとおり承認。

（3）協議事項3 学校教育目標の方向性①について

- ・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）資料6ページを読み上げて提案。参考資料として、別冊資料9ページを紹介。
- ・（菊地構成員）学校教育目標と校訓はどちらが先に決まるのか。

〈回答〉（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）校訓は、建学の精神と同様のものであり、不易なもので、学校が新設されたとき、その指針となるものであると捉えている。教育目標は、時代の変化を捉えながら、必要に応じて変化していくものと捉えている。今回は新しい学校をつくるので、両方を同時に、関係性を考えながら作成していく。

- ・提案のとおり承認。

（4）協議事項4 スクール・ポリシーの方向性①について

- ・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）資料7ページを読み上げて提案。参考資料として別冊資料10ページから11ページを紹介。
- ・提案のとおり承認。

- ・（佐々木座長）協議事項5から7については、関連性のある内容のため、一括して提案する。

（5）協議事項5 学びの在り方①について

（6）協議事項6 総合学科の教育内容の検討①について

（7）協議事項7 工業学科の教育内容の検討①について

- ・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）資料8ページから11ページのとおり提案。参考資料として、別冊資料12ページを紹介。
- ・（久保構成員）教育内容検討チーム会議の議題の中で、教育内容については、とても重要であるはずだが、検討時間が20分とは短いのではないか。また、工業学科の建設コースについては、土木が中心となり、建築に関する内容が薄いのではないかという印象を受けた。

〈回答〉（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）教育内容検討チーム会議の前に、プロジェ

クトチーム会議を各校ごとに開催している。最終決定した会議は短時間となっているが、事前に時間をかけ検討した上での結果である。

- ・（水野副座長）工業学科の部分については、統合により、学科が電子機械科と建設環境科の2学科が1学科になる。現在の建築環境科の環境土木コースと建築コースを維持するために1学科を細分化すると、新しい学科の目的意識が薄まる。いわて県民計画に照らし合わせ、建設業協会の意向も参考にしながら、土木を中心とした学びを設定することとした。
- ・（久保構成員）新設校では、建築を学ぶことができなくなるのか。
- ・（水野副座長）建築も含めてすべての学びを設定した場合、それぞれの学びが薄くなることから、いたしかたないと考えている。
- ・（久保構成員）建設コースの中の木材加工というと、土木ではなく建築の一部と捉えられるのではないかと。木材加工を、土木を中心とした建設コースと、どのように結びつけていくのか見えない。
- ・（水野副座長）木材加工は、野田村の新生児への贈り物の寄贈や全国植樹祭等に出品する木材加工品を作成する実習を通して学んでいる。全体として建築の学びを積極的に取り入れるのではなく、学習内容の一部として取り扱っていく。
- ・（川原構成員）今の段階では、このような形を取るということで理解した。将来的に建築を学びたいと積極的に希望する生徒が増えるようなことがあれば、建築を学ぶことができるような対応をお願いしたい。
- ・（佐々木座長）将来のことは、今後検討が必要になることもあるかもしれない。令和7年度の入学生にわかりやすい説明をし、混乱のないように進める必要がある。
- ・（野場構成員）工業学科の資格取得について、どういった方向になるのか検討をお願いしたい。
- ・（水野副座長）多くの資格がある中で、履修する科目等の詳細を検討していく過程で具体的にしていく。
- ・（佐々木座長）総合学科は現在の教育課程を引き継いでいく。工業学科は教育課程を検討していく中で受験可能な資格について明らかにしていく。
- ・提案のとおり承認。

#### （8）協議事項8 校章の決め方について

- ・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）資料12ページを読み上げて提案。参考資料として別冊資料13ページを紹介。
- ・提案のとおり承認。

#### （9）協議事項9 校歌の決め方について

- ・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）資料13ページを読み上げて提案。
- ・（後構成員）工業高校の校歌について、作詞が谷川俊太郎となっている。どのような経緯で依頼したのかは定かでないが、詞が普遍的な内容で素晴らしいため、谷川俊太郎への依頼も話題にしてほしい。
- ・提案のとおり承認。

(10) 協議事項 10 制服の決め方について

- ・ (久慈東高等学校副校長 三浦幸哉) 資料 14 ページを読み上げて提案。参考資料として別冊資料 14 ページから 15 ページを紹介。
- ・ (久保構成員) 現在のそれぞれの学校のスタイルがあるが、それらとは関係なく、中学生などに聞いて新しいものにするとということか。

〈回答〉 (久慈東高等学校副校長 三浦幸哉) これから中学生を含めてアンケートをとる。複数の業者に問い合わせているところであるが、ブレザー型、スーツ型、セーラ型等の様々なスタイルがある。そのことをアンケートに盛り込むなどして希望を確認する。

- ・ (後構成員) 中学生の意見は、どこで反映されるのか。

〈回答〉 (久慈東高等学校副校長 三浦幸哉) アンケートについては、他地区の統合予定の高校の進め方を参考にしている。近隣の中学校に依頼し、制服のスタイルや色、価格帯など、制服に関する大枠について、可能な範囲で意見をもらいたい、制服検討の参考としたい。

- ・ 提案のとおり承認。

(11) 協議事項 11 その他

なし

5 その他 (久慈東高等学校副校長 三浦幸哉)

- ・ 事務局から次のことを連絡。
- ・ 第3回の統合検討会議は12月25日の14時を予定している。
- ・ 検討内容は、校舎の名称、校歌、校章、校訓、制服等の決定、スクール・ポリシーの方向性②、部活動についてである。
- ・ 校章については、校名が決定した後にデザイン案の募集を進めたいと考えているため、第4回以降の検討となる。
- ・ スクール・ポリシーの方向性②については、令和7年度入試に係るものであるため、できるだけ早めに決定したい。可能であれば、次回の第3回の会議で確定したい。
- ・ 学びの在り方、教育内容、学科名称については、今回の会議で決定している。

6 閉会 (久慈東高等学校副校長 三浦幸哉)